

## 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2025年2月27日

事業所名：児童発達支援 つばめ療育館吉田分館

対象人数（保護者）35人 回答者数 27人 回収 77.1%

	チェック項目	はい	どちらともい	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	2		全体的に施設は狭いと思いますが、工夫されて上手く活動できるようにしていると思います。清潔感がありいいと思います。	個別の支援室を整備し、運動課題の共有スペースを併用した構造で支援を行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27			STがいるとなお良いと思います。	言語聴覚士が産休のため、欠員となっています。口腔機能の改善は、身体調和支援に含まれていますので、効果を期待しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	2			バリアフリー化の構造となっており、ご利用児が分かりやすく、活動しやすい環境となるよう今後も工夫を続けて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1		綺麗にしてあると思います。これからの時期、加湿器で加湿していただくと利用がより安心かなと思います。	支援室の衛生管理は、徹底していきます。毎日の清掃はもちろんのこと、支援室や用具の消毒を行っています。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1		専門の資格がある方以外の方の活動は専門の知識にのっとって支援を行っているかは分からないです。 (例えば言語の活動の時に言語聴覚士ではない方の支援を受けている時等)	全国的に活動されている発達支援コンサルタントと業務委託を結び、より専門性重視の支援に努めています。 作業療法士、言語聴覚士、保育士が在職していますが、同コンサルタント主催の専門研修を受講のうえサービスを提供し、家庭でもできる手技などを保護者にお伝えしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	1			日々、振り返りをして個々の改善を評価しています。プログラムを変更する場合は、HGUなどでお伝えするようにいたします。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1			契約時やモニタリング時等でニーズや課題をお聞きし、児童発達支援計画に反映させるように努めています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	2			ガイドラインに沿った児童発達支援計画書の支援内容にしています。 ガイドラインと別の視点での専門性も取り入れています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27				担当する職員は、児童発達支援計画の達成目標を認識し、日々のサービスを提供しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	4			ご利用児の年齢や能力に応じた個別支援に心がけて、できるだけ固定化しないように、興味のある活動を盛り込みながら柔軟に対応しています。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	16	4	7		サービス担当者会議等で保育所や幼稚園に何って状況共有に心がけています。 個人差はありますが、障害のない子どもとの交流については、現ご利用児の現況等で判断すると、必要性を感じていません。社会性の前に自立力向上の課題が優先すると考えます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1				見学时や利用開始の契約時に、丁寧に説明を行っています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27				利用開始や更新時に、丁寧に説明を行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	4	3		身体調和のレッスンを土曜日に研修会をしていたみたいです。 童謡に合わせてのマッサージが、それぞれ何に効果があるなども具体的に知りたいです。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	22	5		課題や支援をしていただくときに、どんな風に身体を使えるといいのを知りたいです。	保護者とは、同行時にお話をさせていただいたり、連絡帳、HUGマイページ、電話、メール等で利用時の状況や課題について随時連絡を取り合っています。 疑問点などご利用時などにお聞きいただければお応えさせていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	8	1	町村先生の面談が通所する直前にありました。通い始めて1年。また町村先生の評価をしていただける機会がほしいと思います。	モニタリング時や送迎時に、保護者からのお悩みや課題の相談に対しては、個人で判断せず、チームでの方針のアドバイスをお伝えすることを原則としています。 町村コンサルタントの評価は、新規ご利用時の後平等にご案内していますが、つばめ療育館の全事業所を対象としているため、ご不便をおかけしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27				一方的な指示にならないよう、共感的な支援を心がけています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	11	9	そういった会やイベントに参加したことがないので分かりません。	「就学前の情報交換会」を開催し、支援級か支援学校かの選択に役立ててもらっています。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	7	1		保護者からの相談や申し入れに対しては、個人で判断せず、チームでの方針のアドバイスをお伝えすることを原則としています。 モニタリング等の機会や、日常的な相談にも迅速にお応えするように心がけています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2			保護者には、口頭で伝わりにくい場合は、メールでのやり取りを行っています。 ご利用児には、絵カード等を用いて視覚からの情報伝達を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	3			隔月の会報「おたより」や保護者のHUGマイページを活用し、近々の情報をお伝えしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	2			個人情報取扱規程に基づき、施設で保管している個人情報については厳重に管理し、内部研修会や朝のミーティング時にも取り扱いについて注意喚起を促しています。
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	9	4	訓練を実施しているかは分かりませんが、いつも事故などが起こらないよう丁寧な対応を助かっています。 施設内でのヒヤリハットなどがあれば教えてください。 他の子にも活かせることもあると思います。
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	12	5	参加できたことがありません。 そのような訓練があると聞いたことがありません。	年2回、地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。
25		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	4			職員にはインシデント報告を徹底し、事故防止に努めています。
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	8	1	事故を経験したことがないためわかりません。	事故等（怪我等を含む。）が発生した際には、保護者へ速やかに連絡を取り、状況説明等を行っています。 事故防止マニュアルに基づき、必要な時には関係機関へ報告を行っています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27			前に通っていた施設は泣いたりして嫌がっていたりしたんですが、吉田分館に移ってからは泣くこともなく毎回嬉しそうに通っています。	運動課題や個別課題では、個々の自立力に合わせて課題を提示し、成功事例の積み重ねを原則に安心感を与えられるよう心がけています。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	6	マッサージは嫌がるが、他のプログラムは楽しみのようです。	まずは、嫌がらないでご利用いただくことから考えています。ただし、発達支援プログラムには、自立力の向上を目的とする意味合いが込められているため、「楽しんで…」が目的ではないと捉えています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1	時間が押してる時は、急ぎでバタバタ支援を進め、支援時間が少ないと感じる時があります。いつも丁寧に対応していただいてこどもも楽しそうに助かっています。もう少し1回の支援時間が長いといいなと思います。	ほとんどのご家族から満足いただいていることは、有りがたい限りです。より満足いただくためには、ご利用児の「改善」の積み重ねと認識しています。「生活しやすいからだ」は、すべての基盤であると考えています。ご家族と情報共有をしながら、お子さんの育ちに寄り添い、支援して参ります。1時間の個別親子療育は、ご利用児の集中力が持続できて改善効果がより見込めると共に同行される保護者の負担軽減を考慮し実施しました。